

## 事業所における自己評価結果

事業所名 放課後等デイサービス ぱれっと武番館

公表日 令和 8 年 3 月 31 日

		チェック項目	評価		工夫している点	課題や改善すべき点
			はい	いいえ		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	折り畳みテーブルなどを使用し、スペースの確保が出来るようにしています。	指定の基準スペースの確保は出来ていますが、室内での運動の際は机などがあると狭く感じてしまう事がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	運動レクなど集団活動を多く取れて、みんなで協力できる活動を行える様に支援を行っています。	配置基準は満たしているが、より手厚いせい支援を行うために職員の配置が増えるといい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	出来る限り室内は段差がないようにしている。また、ワンフロアなので利用者の見守りがしやすい環境となっている。	建物の構造上だが出入口に段差がある為、完全なバリアフリーではない状況。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		日々の掃除、消毒等を行っています。活動に応じてテーブルの配置等が変えられる様にしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	活動に応じて簡単な仕切りなども用意しています。また、必要に応じて個別での対応が出来る部屋を確保しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		ミーティングを通し課題・問題点等の見直しを行う様にしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者へのアンケートや評価などの意見を参考にさせて頂き、改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		ミーティングをなどは別に都度、気づきなどを伝えやすい様にしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		現在外部評価を行っていませんので、今後検討を行ってまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1		事業所内での研修が主となっている為、今後積極的に外部研修などと取り入れて行きます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページに公表させて頂いています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		利用者・保護者の意見を尊重しながら、より必要な支援に繋がる様に関係機関や指導員と共に作成するようにしています。	

適切な支援の提供

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		カンファレンスやミーティング等を通して課題や強みを把握しながら状況に合わせた計画を立てるようにしています。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		計画の共有と共に、日々の変化を常に共有する事を意識しています。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		アセスメントシートを5領域に分けたものを作成し、より細かく情報が収集できるようにしています。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		利用者の支援に必要な支援を行う事が出来るように支援設定を行う様にしています。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		みんなで話し合いをしながら、色々な活動が出来るように立案できるようにしています。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		主となる物は、あるが内容や目標を変えながらステップアップできる内容にする。また、利用者が常に楽しめる事を考えて活動の幅を広げるようにしています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		基本的には集団活動が主となっています。その中での課題となる場合には個別での対応や全体的にSSTとして学ぶ場を設けています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		支援前に活動内容等の確認、注意事項等を共有するようにしています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援後に記録を残し、振り返りを行いながら共有するようにしています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々の支援記録を残しながら、課題等があれば常に改善できるように話し合いを行い改善に努めています。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的を実施しております。進捗状況を確認しながら計画書等の見直しを行っています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		ガイドラインに基づいて個別支援計画省察の作成を行い支援に繋げています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		SSTや集団生活を通し、自分たちで意見を出したり出来るように支援を行っております。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		管理者・児童発達管理責任者が参加しています。参加前には職員と課題等の情報収集を行う様にしています。	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	関わってくれている関係機関と定期的に連携を図りながら、支援が統一できるようにしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		送迎時や必要な場合は直接電話や担当者会議等を通じて情報の共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		中高生がメインの為、保育園等との連携はとれていませんが、相談支援専門員や保護者からの情報を頂いています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	必要があれば、サービス担当者会議等に参加し情報を共有するようにしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		7		地域の部会等に参加する事はありますが、直接的に助言を受ける事などが出来ていないので、今後検討を行っていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	5		中高生がメインの為、児童クラブや児童館の利用が難しい場面もあります。地域の公園などで遊んでいる児童などと一緒に遊ぶ機会がありますが、定期的では無いので地域交流が出来る場を増やしていきたいと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3		開催時間が支援時間と重なってしまう事が多く、定期的の参加が出来ていない状況です。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時や連絡帳、電話等のツールを使いながら情報共有し、共通認識が持てるように努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		効果的な支援等の情報の共有を行う様にしているが、参加型の研修等の機会を設けていないので検討を行っていきます。
保護者への説明	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		利用契約時に説明を行う様にしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		利用者・保護者の意志を尊重するようにしています。その中で、より利用者の成長につながる事が出来るように意向のすり合わせを大なう様にしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		個別支援計画書の作成後説明を行い同意の上サインを頂くようにしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		必要に応じいつでも対応出来るようにしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3		現段階では、開催する事が出来ていませんので、今後検討を行っていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情等があった場合、苦情解決責任者により迅速に対応を行う様にしています。職員に共有を行い、再発防止に努めています。	

寺	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		ぱれっと新聞で月ごとの写真の配布やInstagram等のSNSを使い日ごろの活動内容を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		利用契約時に取り扱いについて説明を行い、管理を行う様になっています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		視覚支援のツール（写真・イラスト・ジェスチャー等）	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		現段階では地域の方との交流を深める行事等の催しが出来ていませんので、今後検討を行っていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルの作成を行い、定期的な研修を行いながら備えています。実際に訓練も行いながらいざという時に備えています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPの策定を行い、研修等を併せて年2回の避難訓練等の実施を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		利用契約時に保護者との面談時やアセスメントにて情報を頂き確認する事が出来ています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		医師の指示書はありませんが、食べられる量や食べても良い物など保護者と常に情報を共有するようにしています。また、触れる事が無いように配慮を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成し、定期的に研修を行う様になっています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		利用契約時に、安全対策や訓練について説明を行う様になっています。避難経路等をお渡ししています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットの報告を行い、職員で再発防止について意見交換を行っております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	マニュアルの作成を行い、定期的な研修を行う様になっています。	事業所内での研修が多いため、より知識を深められる様に外部研修や外部講師を検討していく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		利用契約時に、必要に応じて身体拘束に関する同意書の説明し同意のうえ署名をいただいています。		